

各 位

共同コンピュータホールディングス株式会社

代表取締役社長  
吉村 昭一

( JASDAQ・コード`9685 )

問い合わせ先  
専務取締役  
相原 能文

( TEL : 0776-34-3512 )

平成21年3月期第2四半期累計期間(連結)業績予想ならびに通期(連結)業績予想の修正と平成21年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込との差異に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年5月23日付当社「平成20年3月期決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期第2四半期累計期間(連結)業績予想ならびに通期(連結)業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、平成21年3月期第2四半期累計期間(単独)の業績見込みについて、前年同期と比較して差異が生じることを認識しましたので併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

( 単位:百万円 )

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想 (A)	1,880	100	95	60
今回修正 (B)	1,750	65	70	20
増減額 (B-A)	△ 130	△ 35	△ 25	△ 40
増減率	△ 6.9%	△ 35.0%	△ 26.3%	△ 66.7%

(2) 修正理由

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安の高まりや原油、原材料の高騰、個人消費の不振などの影響が企業収益を圧迫し、景気停滞の長期化を見せており、第3四半期以降への影響も懸念されます。

そのような状況下で当社グループも国内企業のIT投資への抑制傾向が影響し、売上高は当初予想を下回る予定であります。

営業利益及び経常利益につきましても、売上高の減少やSEの稼働率の悪化による売上総利益の圧迫などの要因により予想を下回る予定であります。

四半期純利益につきましては、第2四半期末における大幅な株価の下落の影響を受け投資有価証券評価損を1千9百万円計上いたしました。

その結果、売上高17億5千万円、営業利益6千5百万円、経常利益7千万円及び四半期純利益2千万円となる見込みであります。

(3) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	3,900	260	250	160
今回修正(B)	3,650	170	160	100
増減額(B-A)	△ 250	△ 90	△ 90	△ 60
増減率	△ 6.4%	△ 34.6%	△ 36.0%	△ 37.5%

(4) 修正理由

我が国経済は、世界的な金融不安や原油、原材料の高騰による消費の不振などの影響が第2四半期に入ってから顕著に表れ、また、株価の大幅な下落や円高など国内景気は急速に悪化しております。

そのような厳しい状況が予想される中で、当社グループは引き続き既存顧客を中心に受注拡大に傾注いたしますが、第2四半期累計期間における売上高の減少や国内景気の急速な悪化に伴う企業のIT投資の抑制などが第3四半期以降の受注活動にも影響が予想され、売上高につきましては、当初予想より2億5千万円の減少となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましても、引き続きプロジェクトの進捗管理の強化、SEの稼働率の向上や経費の圧縮等に努めますが、第2四半期累計期間の売上高の減少やSEの稼働率の低下による売上総利益率の悪化と第3四半期以降の売上高の減額予想などにより、営業利益及び経常利益は9千万円の減少となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記理由による減少及び投資有価証券の評価損などの影響で1億円(当初予想比:6千万円の減少)となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(4/1～9/30)	1,898	105	103	101
通期(4/1～3/31)	3,697	185	180	327

2. 平成21年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込みと前年同期との差異

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前期実績 (A)	63	0	0	272
当期見込み (B)	64	0	0	△ 16
増減額 (B-A)	1	0	0	△ 288
増減率	1.6%	—	—	—

(2) 差異の理由

当社は、平成19年4月1日付けで連結子会社であった(株)共栄本社(100%子会社)を吸収合併いたしました。

それに伴い、「企業結合に係る会計基準」(企業会計審議会 平成15年10月31日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 改正平成18年12月22日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

その結果、前期の実績については特別利益(抱合せ株式消滅差益)に2億7千7百万円が計上されたことにより、四半期純利益は2億7千2百万円となりました。

なお、(株)共栄本社は100%子会社であるため当該合併に伴う前期連結業績への影響はありません。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表時現在の入手可能な情報に基づいた判断及び仮定を前提とした見通しであります。多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。